

# 決算説明会



株式会社 帝国電機製作所

平成22年5月28日

(東証1部・大証1部 6333)

<http://www.teikokudenki.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。



株式会社 帝国電機製作所

# 当社の現状と今後の展望

代表取締役社長 宮地國雄

## 平成22年3月期の概況

百万円	平成21年3月期			平成22年3月期		
	計画	金額	伸率	計画※	金額	伸率
売上高	16,462	16,227	-4.4	14,092	14,741	-9.2
営業利益	1,724	1,826	-3.6	1,015	1,044	-42.8
経常利益	1,531	1,708	-4.1	1,182	1,238	-27.6
当期純利益	781	867	-16.5	780	737	-15.1
1株当り当期純利益	82円75銭	91円93銭	-	82円64銭	78円08銭	-

※平成22年2月8日発表の修正計画

- 減収減益。
- 売上：米国や中国など海外市場は需要が回復しつつあるが、国内市場は回復が遅れている。
- 利益：主に個別業績の売上高減少による操業度低下や特殊仕様ポンプの納入後改修による一時的費用の発生、また連結子会社の台風9号の被害による特別損失発生、電子部品事業における新工場の稼働準備のための費用発生等により利益が圧迫。

# 受注・受注残の状況

受注状況

百万円	21年3月期		22年3月期			
	受注高	受注残	受注高	増減率	受注残	増減率
ポンプ事業	13,344	3,668	12,400	-7.1%	3,771	2.8%
電子部品事業	2,161	143	2,168	0.3%	198	37.6%
その他事業	448	90	348	-22.3%	110	21.2%
合計	15,954	3,903	14,917	-6.5%	4,079	4.5%

- **ポンプ事業**
  - － 海外市場は需要が回復傾向であるが、国内市場の回復が遅れている。
  - － ポリシリコン向けは好調。
  - － 中国においては、高速鉄道向けも好調。
- **電子部品事業**
  - － 自動車用電装品の電子機器ユニットは自動車産業の生産回復により需要が回復傾向にある。
- **その他事業**
  - － 昇降機等の特殊機器の需要は回復が遅れている。

# 事業の動向

事業区分	主要製品など		今後の予想
ポンプ事業	ケミカル用	ケミカル機器用	
		LPG機器用	
		冷凍機・空調機器用	
	ケミカル以外用	半導体機器用	
		電力関連機器用	
		定量注入機器	
電子部品事業	自動車用電装品		
その他事業	特殊機器	電磁石	
		昇降機	
	健康食品		

# 今期業績見通し

## 【通期予想】

百万円 伸率%	22年3月期(実績)		23年3月期(予想)	
	金額	伸率	金額	伸率
売上高	14,741	-9.2	15,627	6.0
営業利益	1,044	-42.8	1,237	18.4
経常利益	1,238	-27.6	1,255	1.4
当期純利益	737	-15.1	776	5.3
1株当り当期純利益	78円08銭		82円23銭	

上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

# 今期業績見通しのポイント

## ・ **ポンプ事業**

- 内需については最悪期は脱していると考えられるが、回復が遅れている。
- 外需についてはBRICs等でのインフラ整備に関わる需要（高速鉄道、原発、電力網の整備、ビル建設等）や設備投資意欲旺盛な太陽電池向け高純度シリコン製造設備における需要に期待。
- 超大型キャンドモータポンプの受注活動本格化。
- 引き続き、調達先の海外調達の拡充を含む多様化・まとめ発注や設計・生産の効率化により原価低減を行う。

## ・ **電子部品事業**

- 自動車用電装品の需要は回復しつつあるが、利益面において新工場移転に係る費用や減価償却費を見込む。

## ・ **その他事業**

- 企業の設備投資回復による昇降機関連需要の増加に期待。

# 今後の成長戦略

## 海外事業の強化

- **北米(世界最大のケミカル産業があり、ケミカル用ポンプの最大マーケット)**

石油化学業界の設備投資回復に加え、太陽光発電、バイオ燃料、原子力発電等の石油代替市場や高速鉄道建設に期待。

- メカニカルシールポンプ市場への侵攻。
- 超大型キャンドモータポンプの受注。
- 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でのマーケットシェア拡大。
- 市場拡大のための代理店網の営業力強化。
- TEXAS PROCESS EQUIPMENT社のキャンドモータポンプ修理サービス事業買収によるサービス体制の拡充。

- **中国(近年、ケミカル産業が急成長している)**

政府の大規模な景気刺激策により景気は回復しつつある。電力、鉄道などインフラ整備に係る需要は引き続き好調。石油化学業界の設備投資の本格回復が見込まれる。

- 新規市場・顧客の拡大を通じ、更なるシェア向上を図る。(電力関連機器モータポンプの現地生産・販売開始)
- 営業力強化・サービス体制の拡充。(09年2月 江蘇省無錫市にサービス工場設立、2009年6月 山東省済南市にサービス工場設立、2009年10月 山東省青島市に営業所新設、)
- 内部管理体制の拡充。(与信管理・キャッシュフロー重視・回収強化)
- 生産効率改善、コストダウン。

# 中期的な経営戦略と目標

- **中期的な経営戦略**

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品造り」「地球環境に優しい製品造り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開

- **経営目標**

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靱な経営体質を目指す
  - 海外売上高比率55%以上(平成22年3月末51.5%)
  - 売上高経常利益率12%以上(平成22年3月末8.4%)

## 配当金の推移

	1株当たり中間配当	1株当たり期末配当	1株当たり年間配当
平成19年3月期	10円00銭 (内東証一部上場記念配当2円含む)	12円00銭 (内大証一部上場記念配当2円含む)	22円00銭
平成20年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成21年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成22年3月期	10円00銭	10円00銭 (予定)	20円00銭 (予定)



株式会社 帝国電機製作所

# 決算説明

取締役総務本部長兼経営企画部長

尾上喜一郎

## 会社概要

## プロフィール

商号	株式会社 帝国電機製作所	昭和 14 年 9 月	鉄道保安装置一式製作販売及び一般電気機械製作販売を主たる目的として、大阪市北区曾根崎新地に株式会社帝国電機製作所を設立
本社所在地	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野 60	昭和 19 年 2 月	業務の拡張と戦時疎開のために兵庫県揖保郡新宮町に新宮工場を竣工
敷地面積	42,286 m <sup>2</sup>	昭和 35 年 4 月 平成 3 年 11 月	自社製品キャンドモータポンプ初号機完成 米国デラウェア州トバー市に子会社 TEIKOKU USA INC. を設立
設立年月	昭和 14 年 9 月	平成 6 年 12 月	中国遼寧省大連市に大連キャンドモータポンプ廠との合弁会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立
資本金	2,116,823 千円(平成 22 年 3 月末)	平成 11 年 1 月 平成 11 年 3 月	台湾台北市に子会社台湾帝国ポンプ有限公司を設立 シンガポールに子会社 TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. を設立
発行済株式数	9,450 千株	平成 11 年 5 月 5 月	大阪証券取引所市場第二部に上場 キャンドモータポンプが PTB (ドイツ国政府防爆検定機関物理工学研究所) 防爆検定に合格
業種	電気機械器具の製造販売	平成 13 年 11 月 平成 14 年 8 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を完全子会社化 ドイツ デュセルドルフ市に TEIKOKU ELECTRIC GmbH を設立
決算期	3 月 31 日(年 1 回)	平成 15 年 2 月	子会社 TEIKOKU USA INC. がアメリカのケミポンプ事業部(キャンドモータポンプ発祥会社) 買収
従業員数	1,188 人(連結)、316 人(単体) (平成 22 年 3 月末)	平成 17 年 2 月	東京証券取引所市場第二部に上場
事業所数	2 工場、5 営業所、3 出張所	平成 17 年 10 月	子会社 TEIKOKU KOREA CO., LTD を設立
連結	子会社 13 社 (国内 5、海外 8)	平成 18 年 9 月 平成 19 年 2 月 平成 20 年 10 月	東京証券取引所市場第一部に上場 大阪証券取引所市場第一部に上場 帝国電機技術開発センターおよび 上月電装新工場竣工
社是		10 月 平成 21 年 2 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司工場増設 江蘇省無錫市に無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
	みんなで良くなろう	平成 21 年 6 月	山東省済南市に済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
	誠実に事に当たろう	平成 22 年 4 月 平成 22 年 5 月	平福電機新工場竣工 TEIKOKU USA INC. が TEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANY 社のキャンドモータポンプ修理サービス事業を取得
	積極的にやろう		

## 平成22年3月期 損益計算書の概要

単位 百万円	連結	前期比 増減 %	単独	前期比 増減%
売上高	14,741	▲9.2	7,529	▲16.7
売上原価	9,584	▲7.1	5,301	▲13.2
売上総利益	5,157	▲12.7	2,227	▲24.0
販売費・一般管理費	4,112	+0.8	2,145	▲2.2
営業利益	1,044	▲42.8	82	▲88.8
営業外損益	193		527	
経常利益	1,238	▲27.6	609	▲50.0
特別損益	▲46		44	
税引前利益	1,191	▲14.2	654	▲24.1
法人税等	454		123	
当期純利益	737	▲15.1	530	▲4.7

[期末評価為替: 1US\$=92.10円、1元=13.50円、1EUR=131.93円、1TW\$=2.86円、1KRW=0.08]

## 四半期推移

百万円	平成21年3月				平成22年3月			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	4,175	4,599	4,054	3,398	3,450	3,618	3,423	4,248
営業利益	526	589	486	219	219	268	259	297
経常利益	643	571	259	229	301	253	315	368
当期純利益	324	384	95	63	104	142	245	244
1株当り当期純利益	34円33銭	40円74銭	10円10銭	6円76銭	11円05銭	15円12銭	25円98銭	25円93銭

注) 平成21年3月期第4四半期、平成22年3月期第4四半期は(通期決算—第3四半期累計期間)で計算されているため正式な数字ではありません。

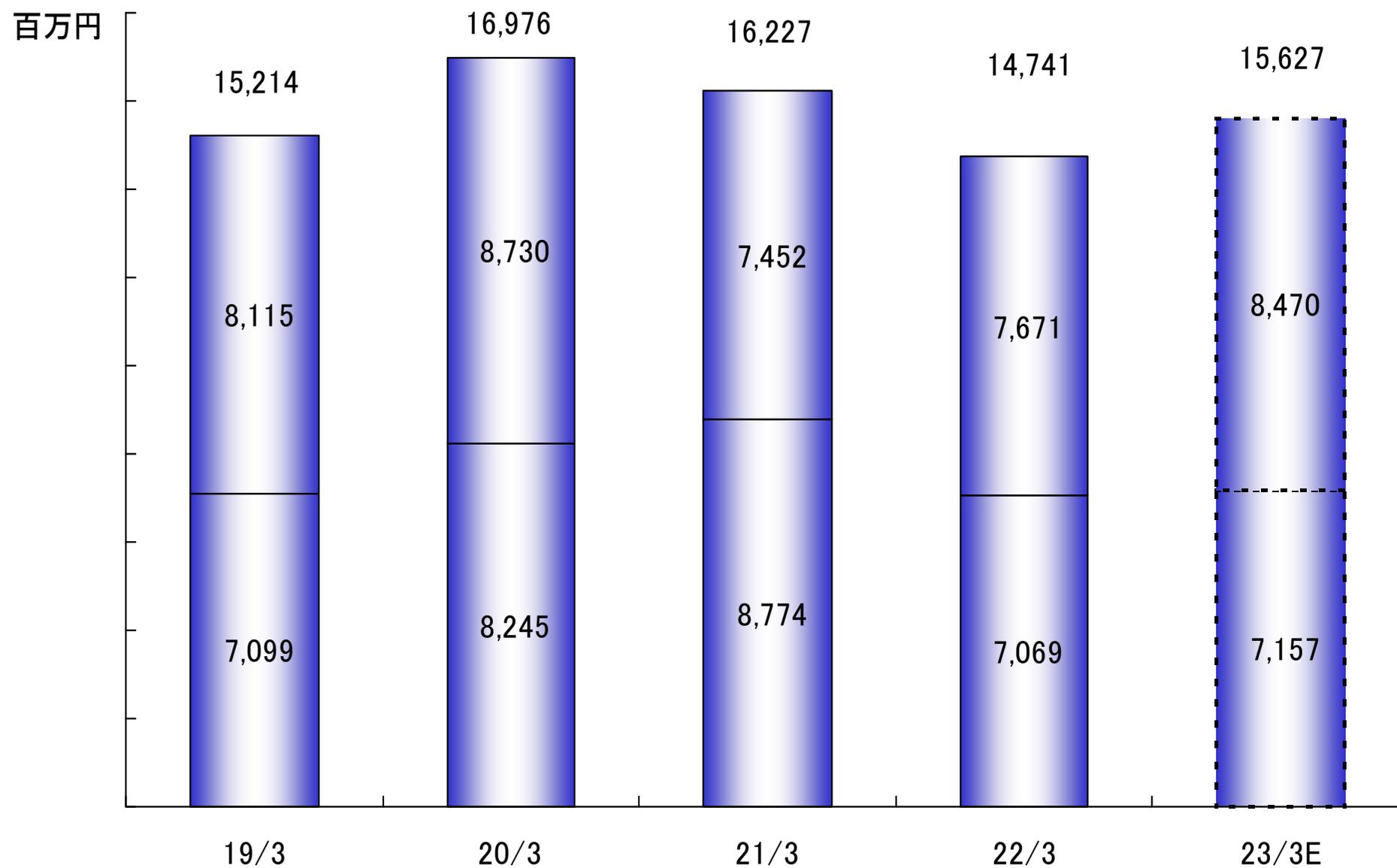
- ・ 平成21年3月期第4四半期をボトムに平成22年3月期は回復傾向を示す。

## 今期計画（連結）

単位 百万円	通期	前期比 増減%	第2四半期 累計期間	前期比 増減 %
売上高	15,627	+6.0	7,157	+1.2
売上原価	10,086	+5.2	4,694	+2.0
売上総利益	5,541	+7.4	2,463	▲0.1
販売費・一般管理費	4,303	+4.7	2,020	+2.1
営業利益	1,237	+18.4	442	▲9.2
経常利益	1,255	+1.4	464	▲16.3
当期純利益	776	+5.3	219	▲11.1

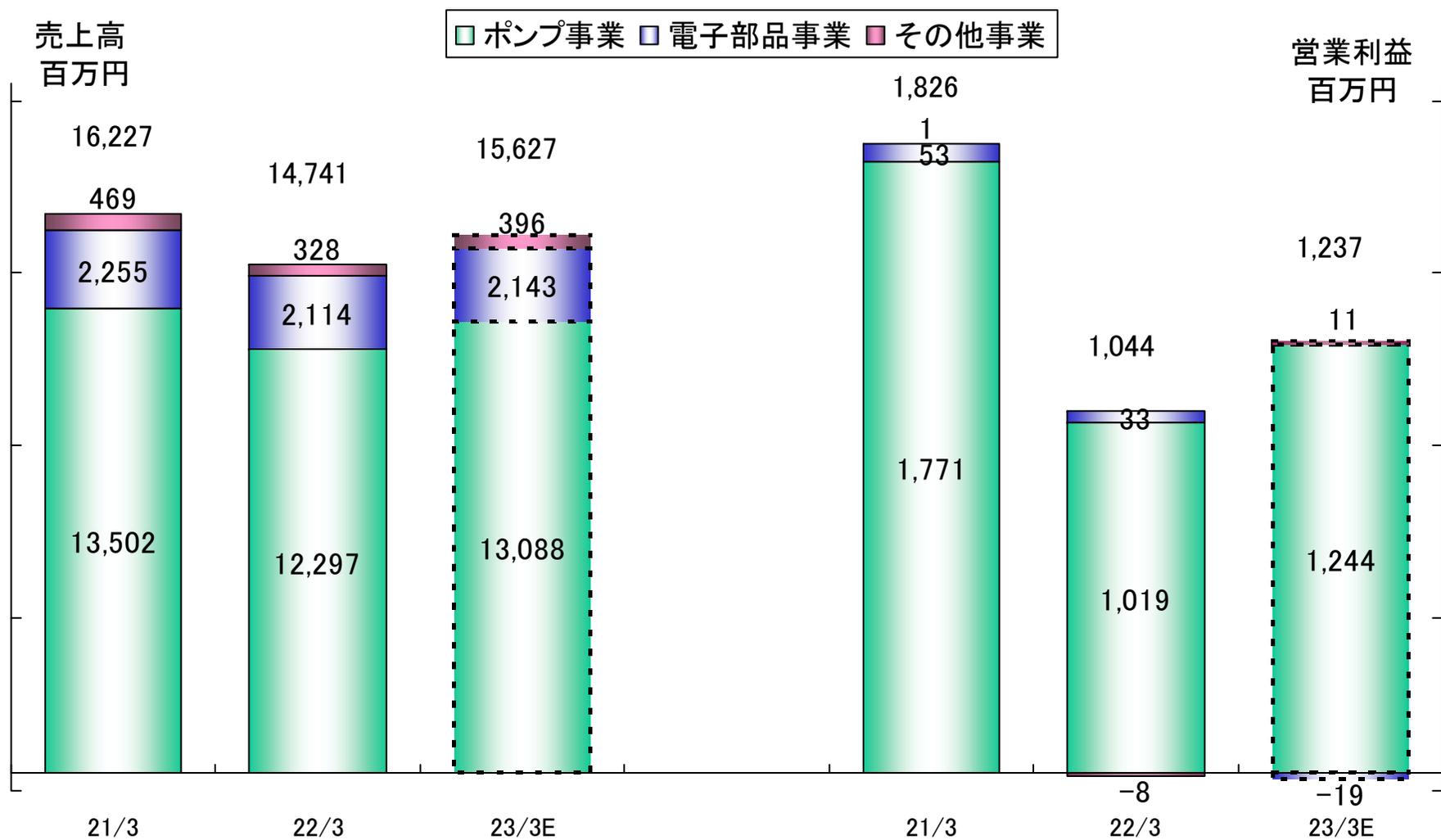
[計画為替レート: 1US\$=90.0円、1元=13.5円、1EUR=125.0円、1TW\$=3.0円、1KRW=0.08]

## 売上高の推移(連結)

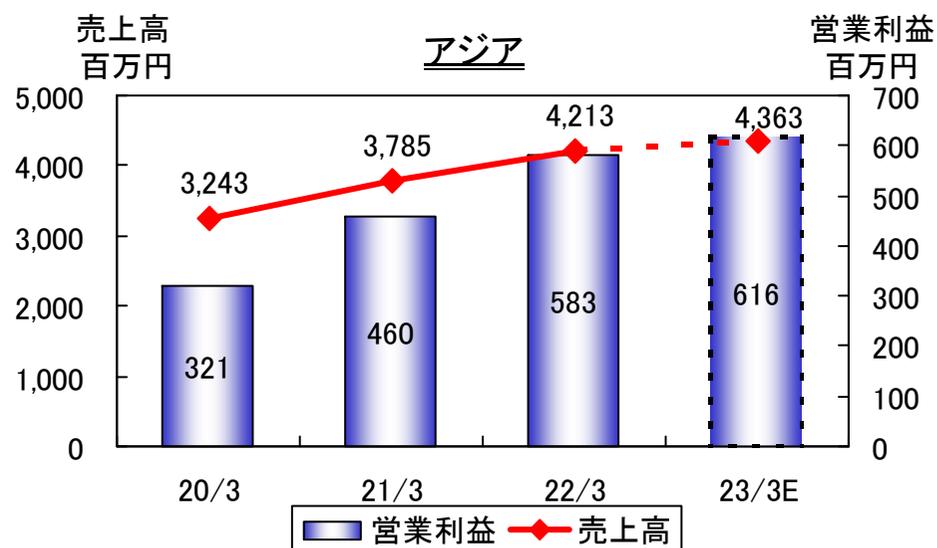
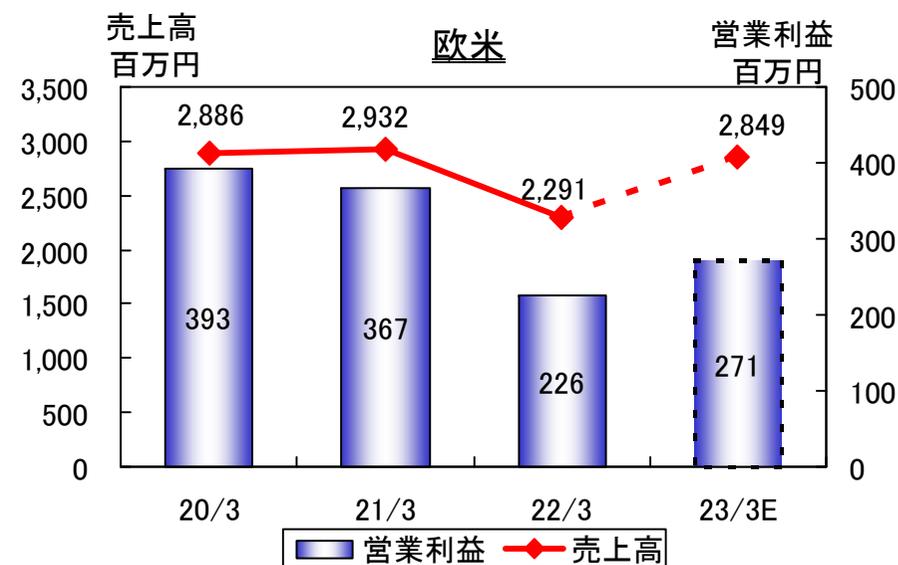
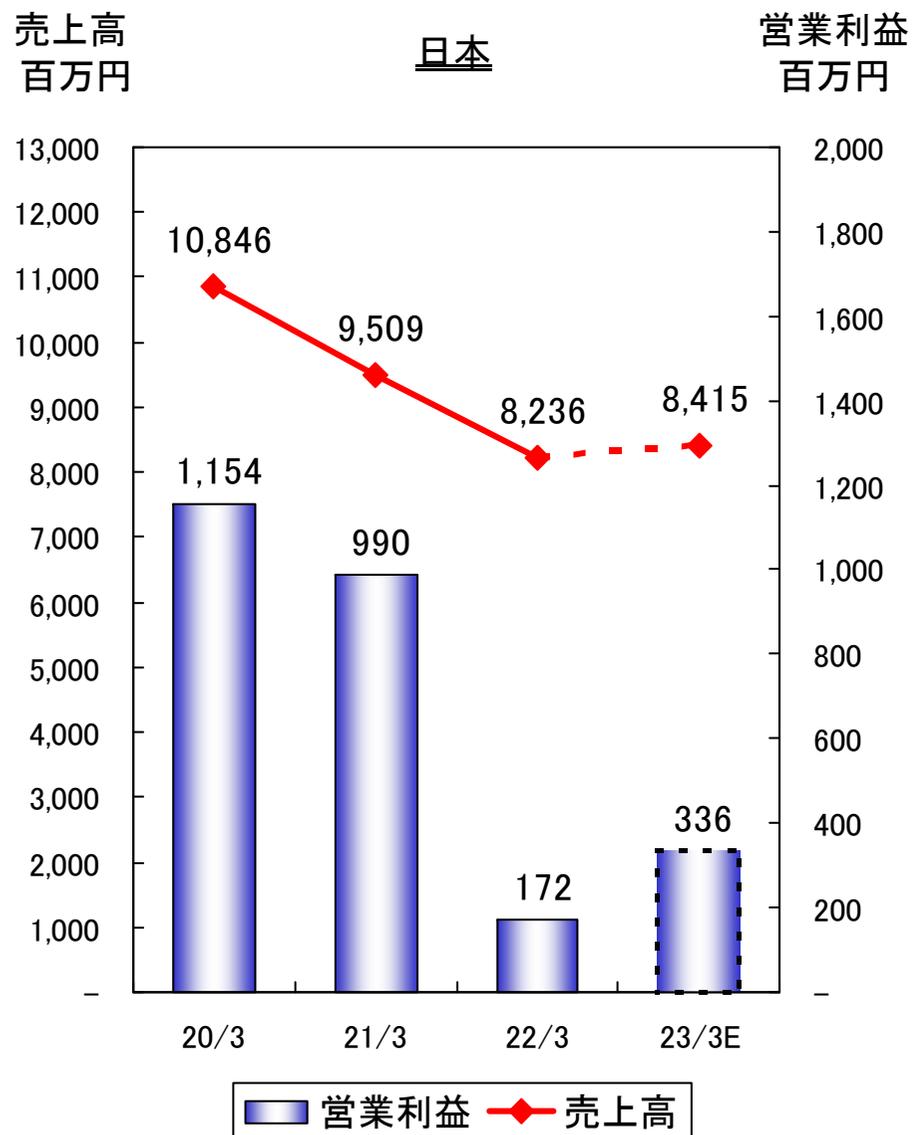


注) 予想数字は要注意事項ですので、取り扱いには十分ご注意ください

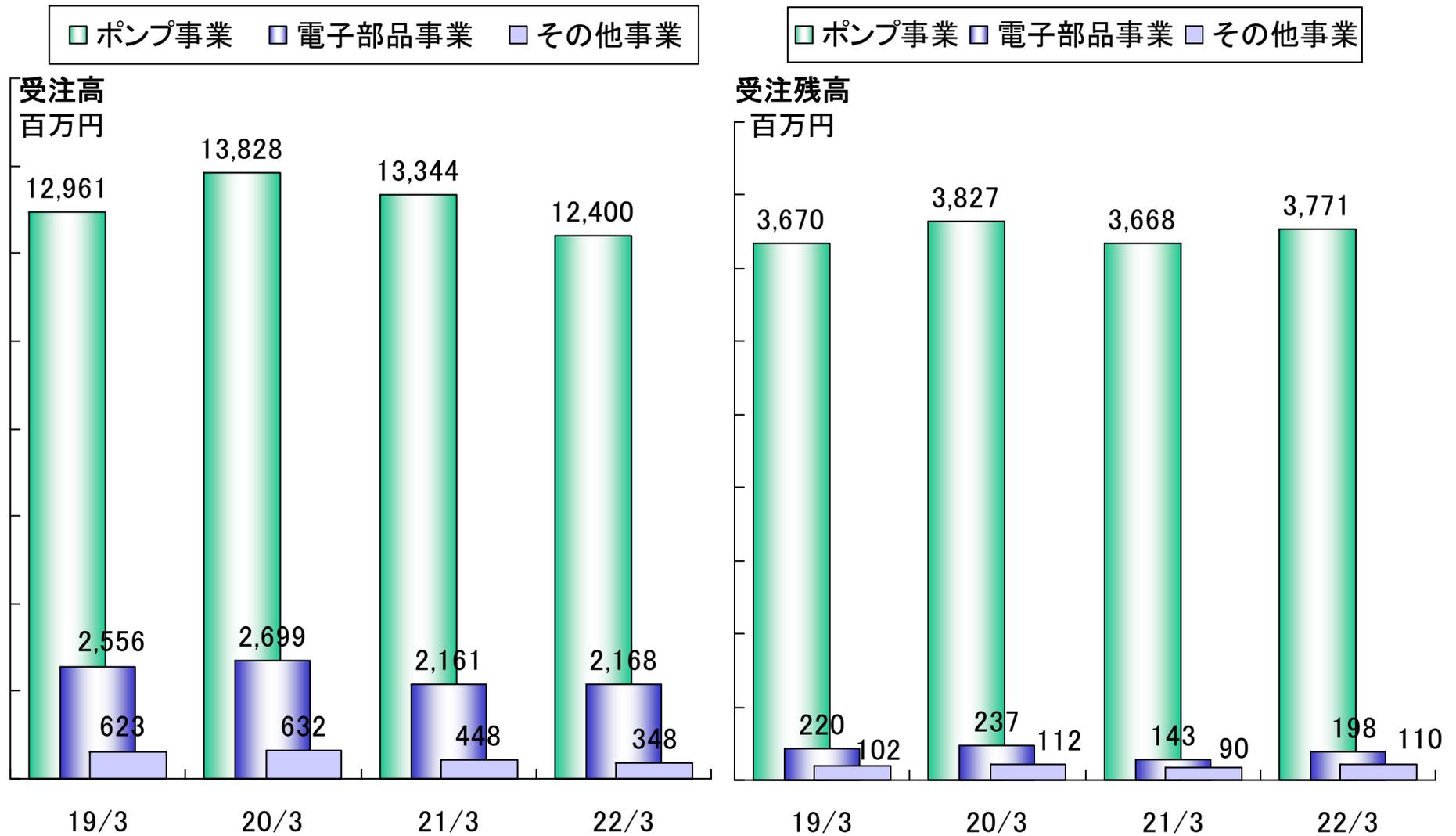
# 事業の種類別セグメント(連結)



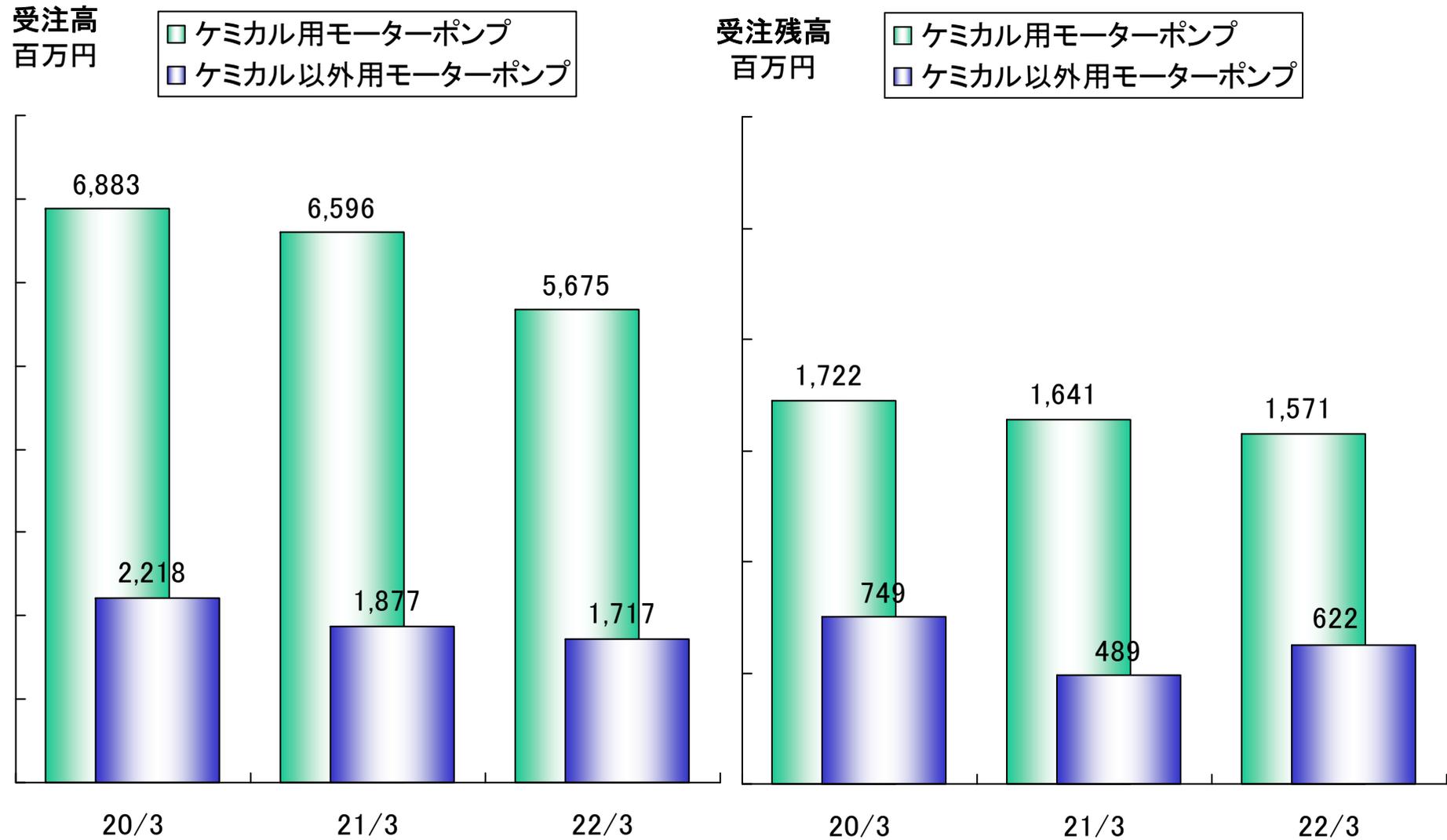
# 所在地別セグメント(連結)



# 事業の種類別受注と受注残高(連結)



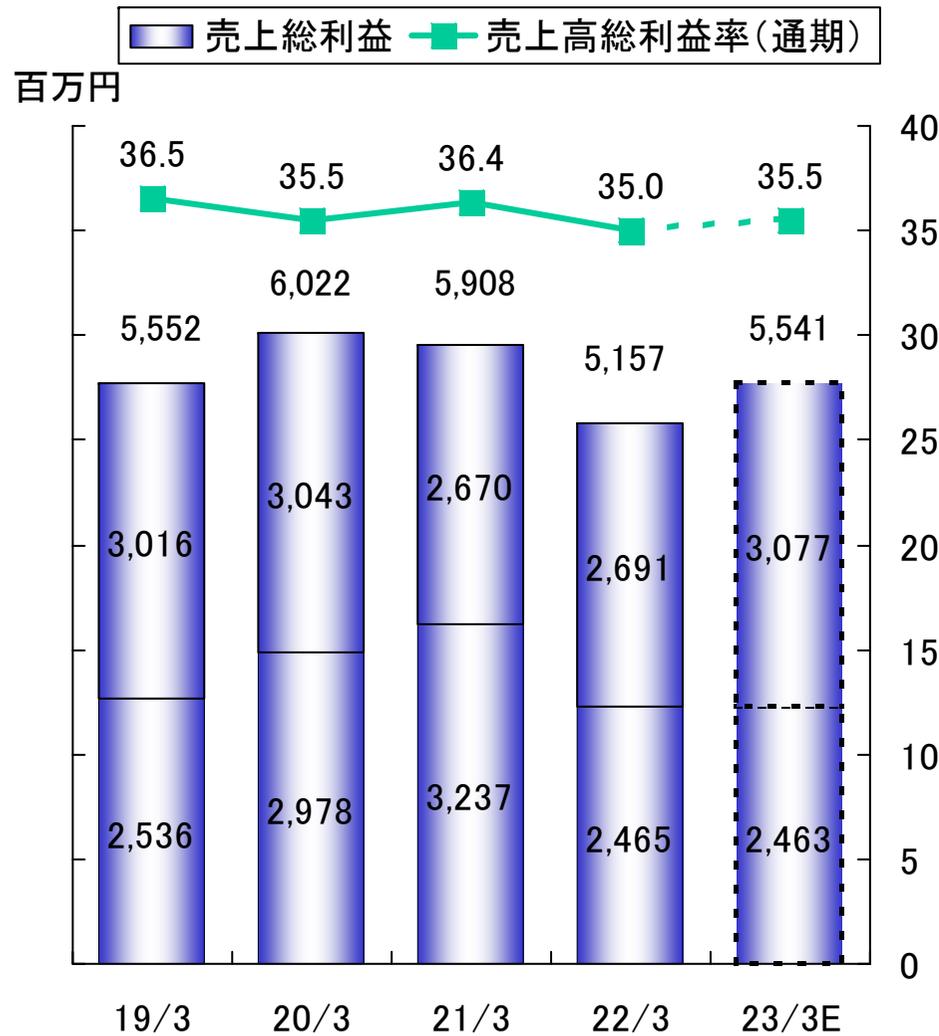
# 主要製品の受注と受注残高(単体)



# 製品別売上高(単体)



# 売上総利益(連結)



## 増減要因(前期比)

売上総利益 ▲751百万円

減収要因 ▲541百万円

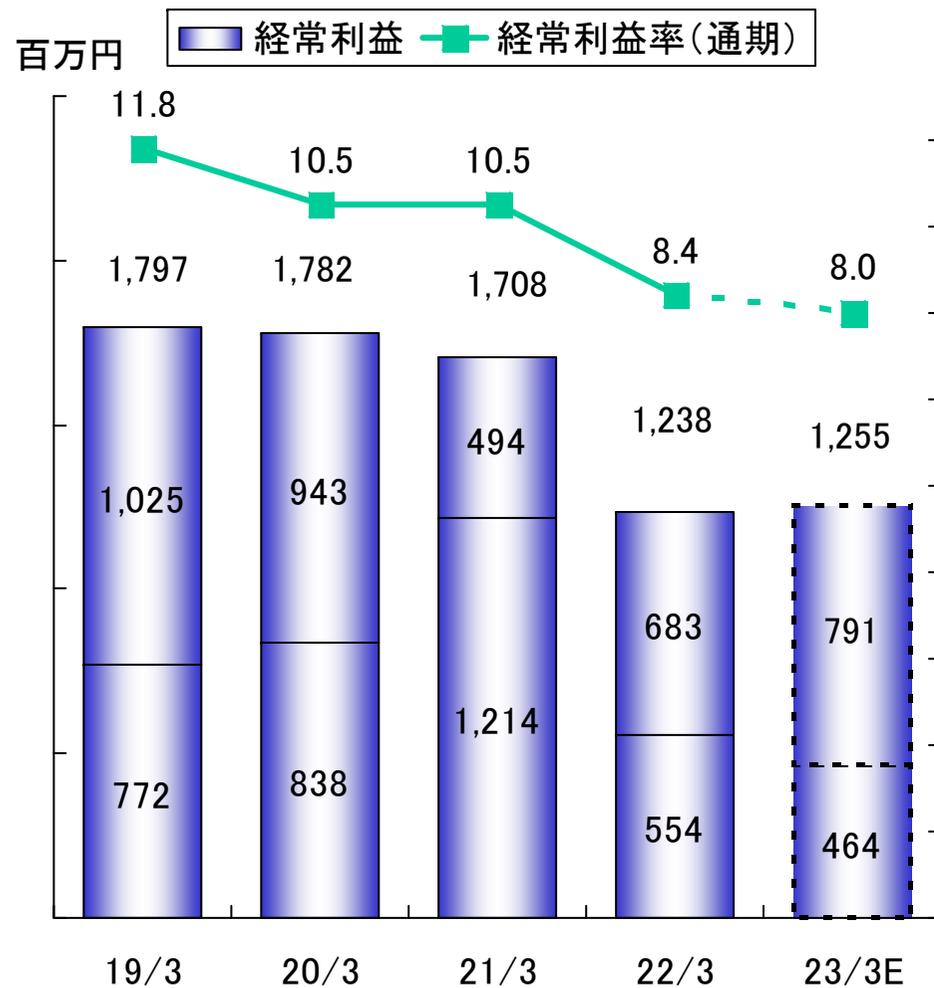
その他 ▲210百万円

親会社 ▲704百万円

国内子会社 ▲158百万円

海外子会社 +96百万円

# 經常利益(連結)

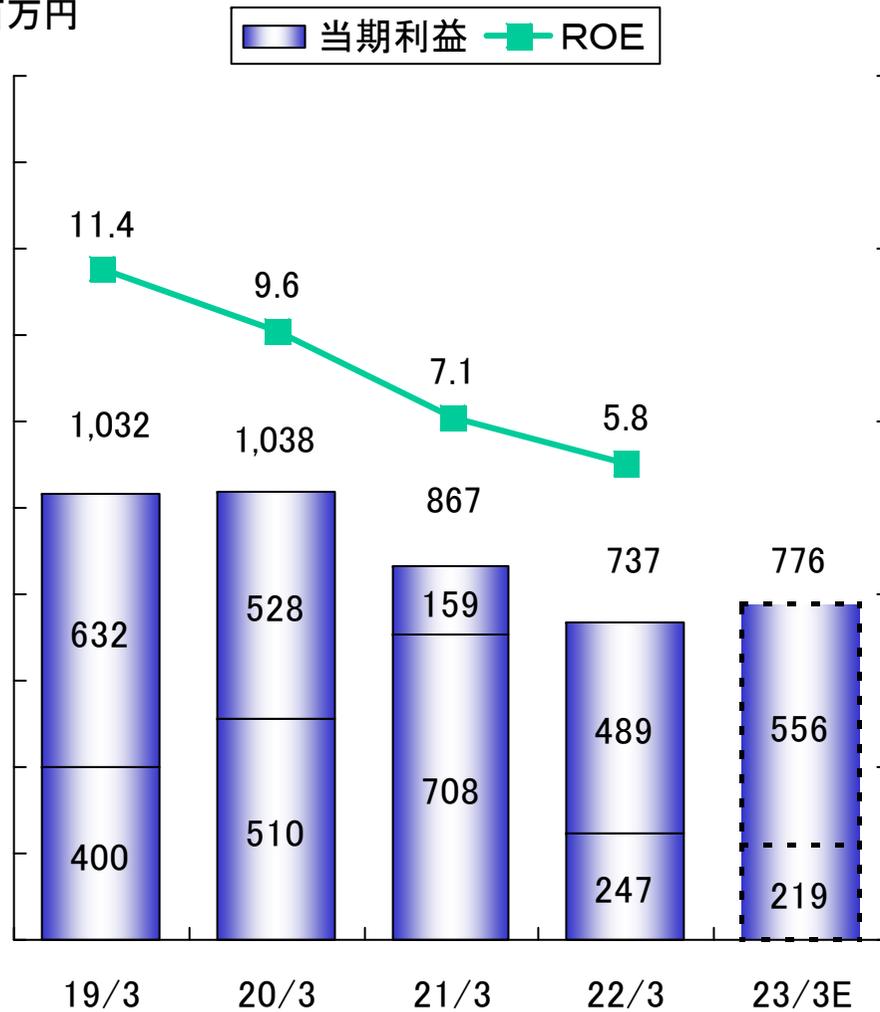


## 増減要因(前期比)

經常利益	▲470百万円
販管費	+30百万円
(うち人件費)	▲35百万円)
営業外収益	+112百万円
営業外費用	▲198百万円
親会社	▲609百万円
国内子会社	+27百万円
海外子会社	+93百万円

# 当期純利益(連結)

百万円



## 増減要因(前期比)

当期純利益 ▲130百万円

特別損益

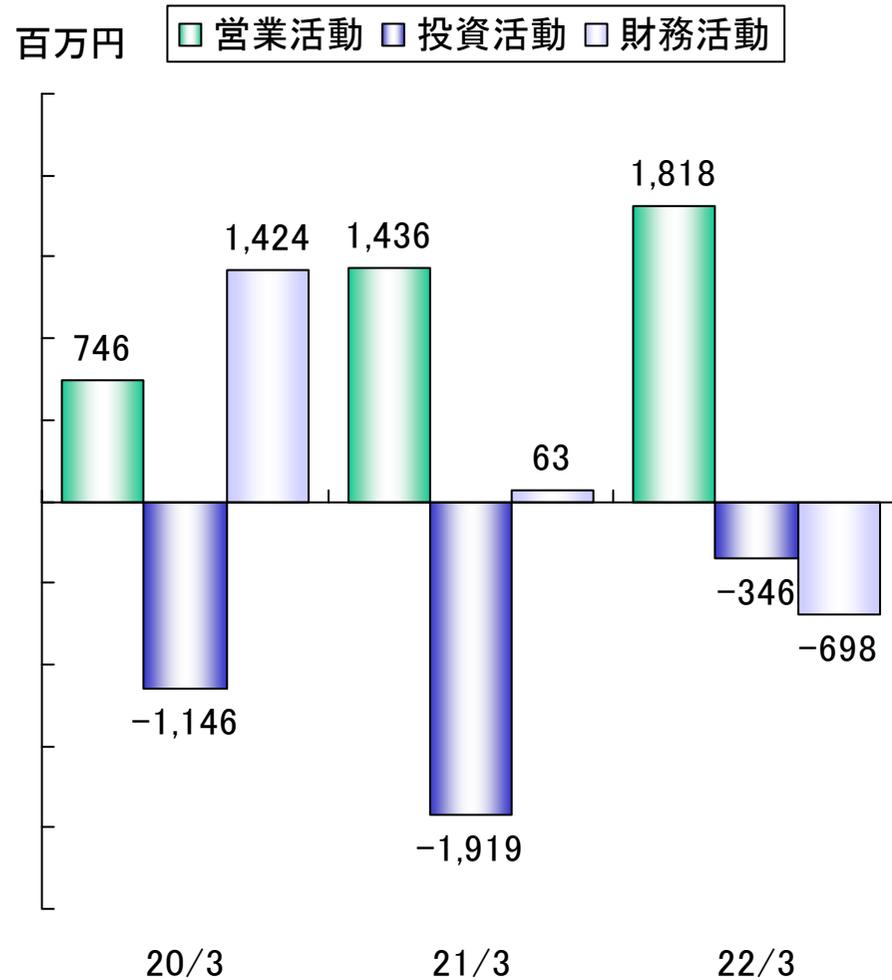
特別利益 ▲2百万円

特別損失 ▲276百万円

## 平成22年3月期 連結貸借対照表の概要

単位 百万円	連結	前期末 増減		連結	前期末 増減
<b>流動資産</b>	<b>10,579</b>	<b>▲478</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,198</b>	<b>▲1,188</b>
現預金	2,773	782	支払手形・買掛金	1,368	▲423
受取手形・売掛金	4,924	▲329	短期借入金	459	▲499
製品	691	▲117	その他	1,370	▲266
仕掛品	898	▲307			
原材料及び貯蔵品	816	▲444			
その他	473	▲61	<b>固定負債</b>	<b>1,352</b>	<b>304</b>
<b>固定資産</b>	<b>6,953</b>	<b>355</b>	長期借入金	—	▲2
有形固定資産	5,507	85	その他	1,352	307
無形固定資産	104	85	<b>純資産</b>	<b>12,981</b>	<b>760</b>
投資その他の資産	1,341	183	株主資本	13,056	547
			評価・換算差額等	▲74	212
<b>資産合計</b>	<b>17,532</b>	<b>▲123</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>17,532</b>	<b>▲123</b>

# キャッシュフローと設備投資(連結)



## 設備投資(取得ベース)

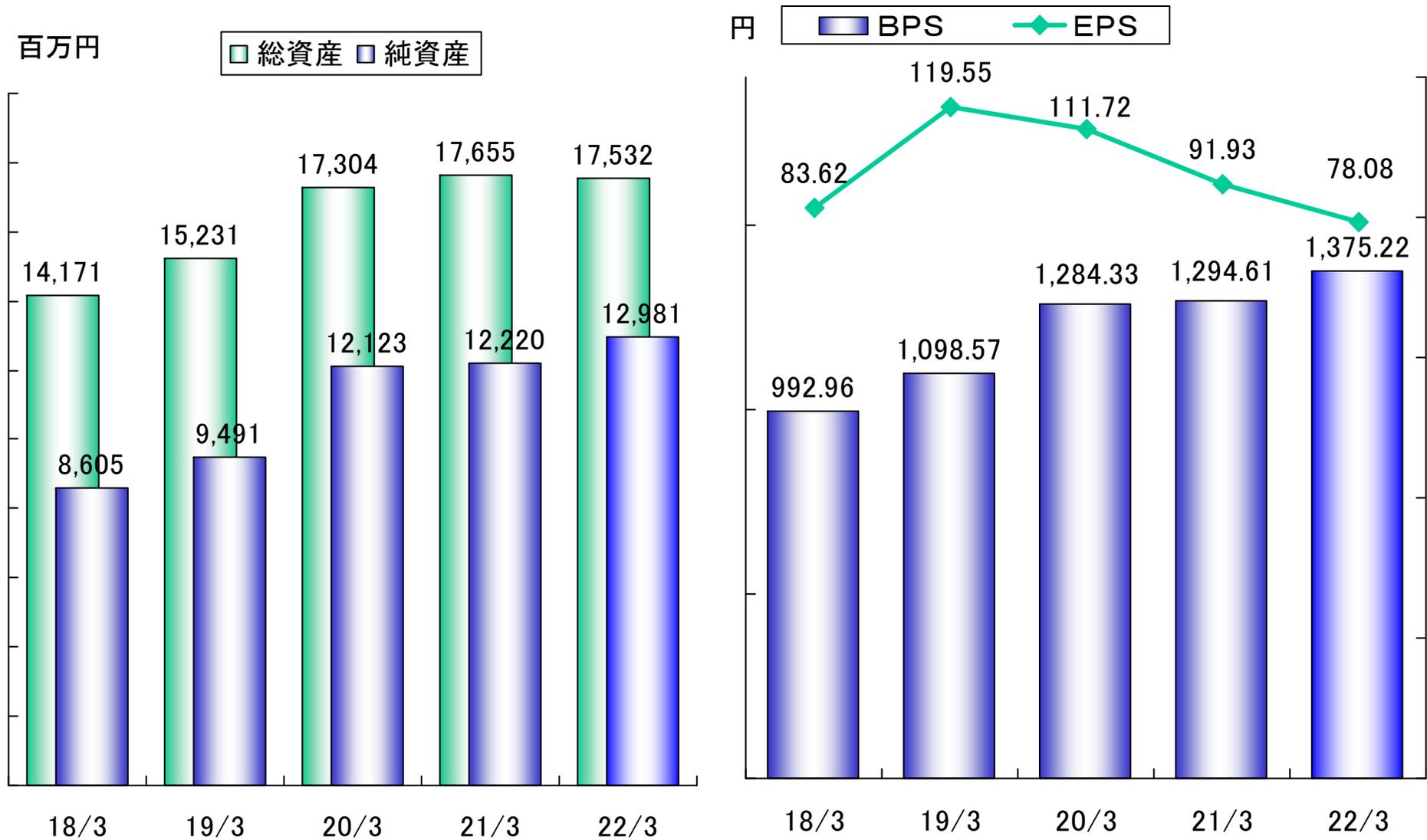
### 実績

親会社	73百万円
子会社	484百万円
合計	558百万円

### 計画(通期)

親会社	246百万円
子会社	230百万円
合計	476百万円

# 総資産、純資産、BPS、EPS(連結)



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所